

令和3年度 県立学校プロジェクト学習推進事業
実施報告書【課題実践校用】

学校番号	35
学校名	富山県立氷見高等学校

学校の現状と課題	<p>本校は、氷見市唯一の高校として地域の大きな期待を担う学校である。普通科、農業科学科、海洋科学科、ビジネス科、生活福祉科がお互いに地域との連携を深めながら、将来地域社会に貢献できる人材の育成を目指している。</p> <p>しかし、入学生が成績面や行動面で多様化するとともに、進路の面でも進学希望者、就職希望者が各学科に混在し、様々な対応が必要となっている。また、学科を問わず基礎学力の定着に課題があり、その結果生じる学習意欲の不振と学力の開きが見られ、真摯な学習姿勢を喚起する指導の工夫が必要とされる状況にある。さらに、新たな教育課題にも対応するために、教員の豊富な知識と資質を高める必要がある。急激な社会の変化に柔軟に対応できる基礎学力や課題解決能力の育成、ICT機器を利用した情報活用能力の向上、さらにコミュニケーション力の向上が求められる。</p> <p>専門学科4学科を中心に特色ある学びを進めているが、就職希望者も多くその進路は多岐に亘るため、早期から視野の広い職業観を育成して、進路選択を考えさせる必要がある。</p>	
テーマ(特色)	多様な自己実現を図るキャリア教育の充実と生徒一人一台タブレットの有効な活用方法を探る。	
設定した「テーマ」の達成状況	<p>今年度も新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、当初予定していた大学見学や修学旅行、インターンシップなどの進路に関する行事も日程の中止や変更、規模の縮小、内容の精選等を行っての実施となった。生徒が自立してキャリアを積み上げるために、コロナ禍においても生徒が多様な進路について調べ、情報収集することを通して知る機会をできるだけ多くするように努めた。</p> <p>また、生徒1人1台タブレットを活用した教育活動にも積極的に取り組み、ICT機器を利用した情報活用能力の向上や主体的な学習態度の育成を行った。併せて、全教員がオンライン授業等の実施が出来るように校内研修会等を実施して、教員のスキルアップを図った。</p>	
実施内容 (具体的に記入する)	<p>①生徒【学問・職業を知る機会の拡充】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「進路ガイダンスA」:3年生が、大学や専門学校教員を招き、入学試験や採用試験に関する講義を受けた。 ・「職業人から学ぶ」:1年生全員が、様々なジャンルの職業人から講義を受け、就業に必要な学力・スキル等の教示を受けた。 ・「進路ガイダンスB」:1年生が、多岐にわたるジャンルの上級学校や就職アドバイザーを講師に、就業に必要な学力・スキル等の教示を受けた。 ・企業見学:3年生の就職希望者が、複数の企業に出向き、職場の雰囲気や作業現場を見て進路選択の参考にした。 ・インターンシップ:2年専門学科生徒全員が、市内企業で職業体験を行った。 ・「インターンシップ報告会」:2年専門学科生徒全員が、各学科の1年生に職場での体験や感想を発表した。(コロナ禍の中での実施により、協力いただいた企業や事業所からの参加を取り止めて行った。) ・「卒業生と語る会」:普通科、専門学科に分かれ、1、2年生ごとに進路実現にむけたアドバイスを受けた。 <p>②教員【教育課題に対応する授業改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器を活用した授業等の実践し研修会を行い、授業の改善を図り、教員のスキルの向上に取り組んだ。(教員の県外等の研修会・講演会への参加は、新型コロナウイルス感染症拡大から今年度も取り止めた。) ・今年度は、生徒一人につきタブレット端末一台が配置され、ICT機器を活用した授業実践の研究やオンラインによる授業、ホームルーム等の実施、家庭学習のサポートを実践した。 	
取組による成果 (プロジェクト学習推進の観点から)	<ul style="list-style-type: none"> ・全学年での「進路ガイダンス」等の進路関連行事を通じて就職・進学の選択についての情報を集め、具体的な自己の将来設計についての意識を高めることができた。さらに、その実現のため毎日の学習に意欲的に取り組むなど、学習意欲の高まりが見られた。 ・同窓生の方々の協力を得て行った1年生の「職業人から学ぶ」では、様々な分野の身近な方々から職業の話や働くこと、仕事の内容や資格、必要な学力等、将来の職業選択に向けての具体的な知識を得ることができた。 ・インターンシップでは、コロナ禍の中地元企業や事業所の協力により、就業体験に積極的に参加することで、将来社会人として自立するための社会性や規範意識の高揚を図ることができた。 ・探究活動である1年生の「未来講座HIMI学」や2年生の「探究基礎」、「シチズンシップ」では、生徒各自の思いや考えをまとめたり、グループでのレポートやプレゼンテーションなどの共同制作に活用した。また、3年生では進学や就職における志望理由書の作成や進路情報の収集等に活用された。今年9月のコロナ禍においては、分散登校期間において、1・2年生普通科でのオンライン授業の実施や「未来講座HIMI学」等において外部講師の先生が来校できない場合のオンライン会議でのやり取りなども行い、有効な活用ができた。 ・「Google for Education」を活用し、それにより各授業での課題や小テスト、レポートの作成など一人一人の学習状況を教師が把握することが容易になった。 ・今後も授業や進路における活用方法等の研究に取り組み、主体的な学習態度を育てる手がかりとしたい。また、ICT活用能力の向上と積極的な活用は社会的要請であり、生徒に有効に活用させるためにも教員のICTスキル向上の取り組みを進め、効果的に活用して学力向上を進めたい。 	
対象者(学年・人数など)	全校生徒 702名	
実施実績	4月	・進路ガイダンスA(3年生全)
	5月	・互見授業期間
	6月	
	7月	・進路ガイダンスB(1年生全) ・企業見学(3年生就職希望者)
	8月	・職業人から学ぶ(1年生全)
	9月	
	10月	・インターンシップ事前講座 ・互見授業期間
	11月	・インターンシップ(2年専門学科)
	12月	・インターンシップ報告会(2年専門学科)
	1月	
	2月	
	3月	・卒業生と語る会(1・2年生全)